

取り組もう！ ボランティア活動

東日本大震災しんさいが起きたあとは、多くの人々が通常つうじょうの生活をする
ことができませんでした。しかし被害ひがいが軽かった人々や、他県から多
くの人々がボランティア活動に参加していました。

ボランティアの人々は自分の食べ物や道具、寝る場所ねなどの生活
の手だて等、全て自分たちで準備じゅんびをして被災地のボランティア活動
に取り組みました。

1 ボランティアの人々の活躍かつやく



地元の学生ボランティア

自分たちも被災者であるにもかかわらず、炊き出しや救済物資きゅうえんぶつしの運搬うんぱん、高齢者こうれいしゃ
や病気の人々への食料の配達など、地域ちいき
のボランティアとして参加している大人や小
中学生がたくさんいました。

休日ボランティア活動に取り組む人々

ボランティアの人たちは、被災地の人々の役に立てればという
気持ちで、自分の仕事が休みの土曜、日曜、休日などに被災地
に入り、震災がれきの処理しゅりなどに取り
組んでいます。

自分たちの食料や寝る場所等を、
全て自分たちで準備けいぞくして継続してボ
ランティア活動に取り組んでいる人
も少なくありません。



かき出した泥どろを集めるボランティアの人々

2 わたしたちにできるボランティア活動

震災によって、電気・水道・ガスな
どのライフラインが大きな被害を受け
ました。特に水が出ないため、飲料水、
調理に使う水、トイレに流す水など、
とても困こまっていました。



お年寄りにとっては、給水車が来て
給水車から水をもらう人々
も、重い水を自宅まで持って帰るのは大変なことでした。

その様子を見た児童の中には、お年寄りの自宅まで水を運んだり、
トイレに流す水をプールからくむ手伝いをしたりする人もいました。

3 復興ふっこうに向けてわたしたちにもできること

市内の小中学校では、児童・生徒合同会議を開き、挨拶運動あいさつやゴミ
拾いなど、復興に向けて自分たちのできることに取り組んでいます。

? 考えよう

- 自分がこれまでお世話になったり見たりしたボランティア活動を思
い出してみましよう。
- 自分たちができるボランティア活動について話し合ってみましよう。

地域の人々と共に立ち上がる

震災を経験した小学校では、地域と協力しな
がら、復興に向けて立ち上がろうという活動を行
っています。

ある小学校では、児童会で招待状しょうたいじょうを作成し、
学習発表会や運動会に地域の方々を招待するこ
とで、地域とのつながりを深める取り組みをしました。



案内状あんないじょうを地域の人に
配る児童